

つれづれ

平成28年12月8日(木)

平和な世界の実現に向けて



昭和16年（1941年）12月8日（ハワイ時間7日）、日本海軍機動部隊によるハワイ真珠湾への奇襲攻撃がありました。この時アメリカ側は、多くの戦艦や航空機を失い、民間人を含む約2400人の尊い命を奪われることとなります。これが太平洋戦争の始まりです。

太平洋戦争は、第2次世界大戦の局地戦であり、この戦争が終わりを迎える大きな出来事が、昭和20年（1945年）8月6日、9日の広島と長崎への原子爆弾の投下です。そして、日本では8月15日に終戦を迎えました。

今年5月27日、オバマ大統領は現職の大統領として初めて被爆地広島を訪れました。

「71年前の明るく晴れ渡った朝、空から死に神が舞い降り、世界は一変しました……未来において広島と長崎は、核戦争の夜明けではなく、私たちの道義的な目覚めの地として知られることでしょう。」

このスピーチは全世界で放送されました。私は、「核なき世界」の実現に向けて力を尽くしてきたオバマ氏らしいスピーチだと感動しました。

しかし、世界を見渡せば、軍事的緊張状態にある地域や、今なお核実験を続ける国もあり、平和な世界の実現に向けて、人類はまだまだ努力を続けなければなりません。

12月6日の新聞各紙では、安倍晋三首相が今月26、27日の両日、真珠湾攻撃による犠牲者の慰霊のためにハワイ・オアフ島を訪問すると報じていました。日本の現職首相による慰霊の訪問は、これも初めてのことです。

オバマ大統領の広島訪問、安倍首相のオアフ島訪問が、過去の歴史を越えて日米関係をよりよいものとし、さらには世界平和の新たな出発点となってくれることを願います。

全校集会をとおして、これまで皆さんに「政治や経済」について知る大切さを伝えてきました。また、本校では毎年8月6日に実施している「平和登校日」を代表とする平和学習に取り組んでいます。

今回の安倍首相のオアフ島慰霊訪問についても、新聞やテレビの報道に注目し、過去の歴史も学びつつ、平和な世界の実現に向けて考えるきっかけにしてほしいものです。

<保護者の皆様へ>

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

【大阪市教育委員会 天下茶屋中学校】で検索



QR code

天下茶屋中学校HP → <http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j762750>